

医療機器等のコード化における現状と問題点について

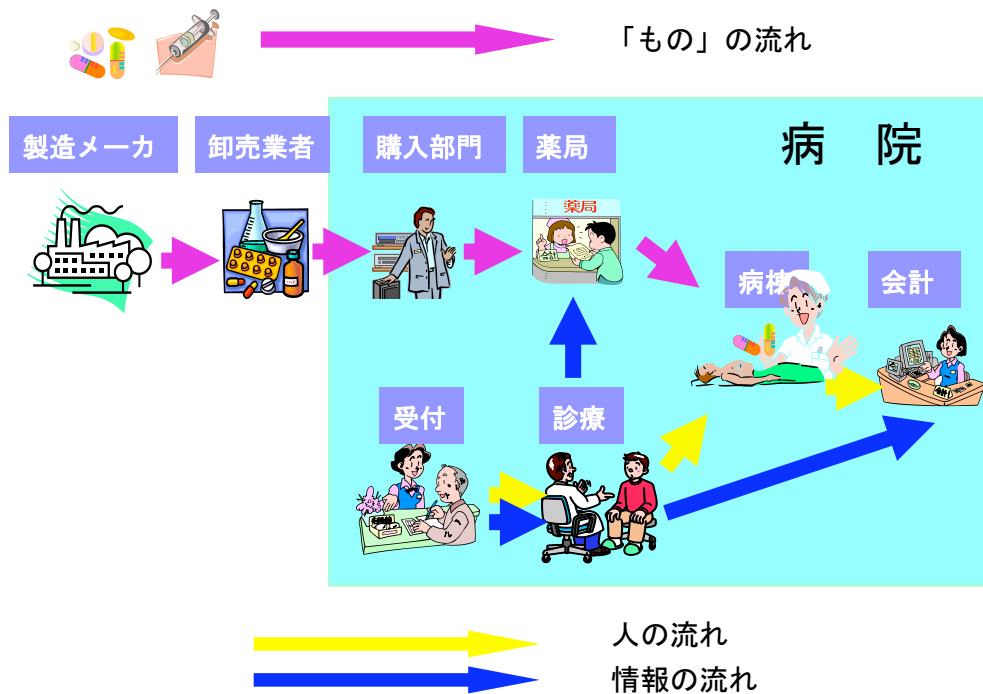
開原成允（国際医療福祉大学 大学院長）

((財)流通システム開発センター 医療機器・医薬品トレーサビリティ調査研究委員長)

1 流通改善の多面性

- 流通の改善方策には、いろいろあるが、ここでは製品の ID 番号の付与とバーコードの貼付（以下「バーコード」という。）に限ってのべる。
- 「バーコード」は、見方によってさまざまところに利用できる。

図1 「もの」と患者と情報の流れ



- 1) 製造メーカー：偽造品の排除、流通の効率化
- 2) 卸（上流）：流通の効率化
- 3) 卸（下流）：流通の効率化（発注・受注の効率化）
- 4) 医療機関：発注の効率化、在庫管理、物品の流れの把握による経営改善、患者安全
- 5) 国：消費者の安全

以下では、4) に限って意見を述べる

その理由は、流通改善が患者の利益に直接反映できるにもかかわらずそれが日本では実現できていないからである。